

中学校第1学年 道徳学習指導案

1 主題名 友達のためになること【内容項目B―(8)友情、信頼】

2 教材名 「ロレンゾの友だち」

(出典『読み物資料とその利用―「主として他の人とのかかわりに関すること」―』文部省編)

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

生徒たちは、授業や部活動など学校生活の中で互いに関わり合いながら毎日を過ごしている。その中で望ましい人間関係を築いていくためには、互いの立場や気持ちを認め合い、考えて行動していくことが大切である。この時期の生徒は、自我の確立に伴って、表面的なつながりだけの友達ではなく、心のつながった友達を求めるようになる。この学習を通して、互いの考えを出し合い、よりよい言動について話し合う中で、友情について考えさせ、互いを認め合いながら、よりよい人間関係を築こうとする態度を養うことは意義深いと考える。

○生徒の実態について

本学級は、明るく活発な生徒が多く、何事にも前向きに取り組もうとする雰囲気がある。その一方で、思ったことをそのまま発言して相手を傷つけたり、自分より弱いと思うものに対して厳しい態度をとったりする場面もある。また、生活アンケートでは「友達と互いに理解し、励まし合い、高め合いながらよりよい関係を作ろうとしている」という項目で、2割程度の生徒が「あまりできていない」と答えている。中学生の時期は、仲間同士でも何らかの原因で仲間はずれになったり、決まりを破った友達をかばったりすることもある。この学習を通して、友達について考え、よりよい人間関係構築のきっかけにしたい。

○教材について

本資料は、会社の金を持ち逃げした疑いを掛けられ警察に追われているロレンゾという友達に対し、アンドレ、サバイユ、ニコライの3人の友達がどのように対応していくか悩み、葛藤していく中で、本当の友情について考える資料である。3人はロレンゾのことを思い、アンドレはお金を持たせて逃がす、サバイユは自首を勧めるが本人が納得しなければ逃がす、ニコライは自首を勧めるが本人が納得しなければ警察に知らせるという対応を考える。3人は眠れないまま夜を明かす。翌朝、警察の間違えでロレンゾが無実だったことを知る。4人は無事に再会を果たし、酒場で思い出話に盛り上がった。しかし、本当に罪を犯していたら、3人は友達としてどのようにすべきだったのだろうと考えさせられる内容である。

○指導について

指導に当たっては、導入時に事前アンケートの結果を示し、ねらいへの意識付けを図りたい。展開前段では、木の下で話し合った3人の考えを整理し、自分は何の考えに賛成(近い)か立場と理由を記述させ、ネームプレートで自分と全体の考えを可視化する。その後、互いの考えを広げ、深めるために意見交流を行う。また、3人がかしの木の下で話し合ったことを酒場で本人に言えなかった理由を考えさせることで、3人とも友達のために真剣に思い悩み、友達であればこそその葛藤であったことに気付かせる。展開後段では、心のつながった友達が、罪を犯していたとしたらどのように行動するのか考え、ねらいに迫りたい。

4 ねらい

よりよい友達関係をつくるために大切なことに気づき、友達のためになることを考えながら行動しようとする態度を養う。

5 展開

	学習活動	主な発問（○）と予想される反応（・）	指導上の留意点 期待される生徒の姿（教師の願い）
導入	1 本時の学習内容を知る。	○「友達」に対する思いについて確認しましょう。	・ 事前にとったアンケート結果を紹介する。
	めあて：「友達のためになること」とはどんなことか考えよう		
展	2 資料を読んで、話し合う。 (1) ロレンゾの噂を聞いたときの3人の気持ちを考える。	○ロレンゾが警察に追われているという話を聞いたとき、3人はどんなことを思ったでしょう。 ・信じられない。何かの間違いであってほしい。 ・なんで、そんなことしたんだろう。	・ 3人がロレンゾのことを心配しているが、疑いの気持ちもあることを押さえる。
	(2) ロレンゾが家に来たときの3人の対応を確認する。	○夜中、ロレンゾが家に来た場合、3人はどのように行動しようと考えていましたか。 アンドレ いけないかもしれないけど、お金を持たせてだまっ て逃がしてやる。 サバイユ 自首を勧めて、本人が納得しない場合はそのまま逃 がしてやる。 ニコライ 自首を勧めて、本人が納得したら、一緒に警察にい く。だめだったら、警察に知らせる。	・ 3人の考えの要点を整理して、板書する。
開	(3) 自分がロレンゾの友達だったら、どの考えに近いかなを考える。 【書く活動①】	○自分が、ロレンゾの友達だったら、3人のうちの考えに賛成（近い）か理由を付けて考えましょう。 (アンドレに賛成) ・警察に知らせるのはかわいそうだから。 (サバイユに賛成) ・友達の気持ちを大切にしたいから。 (ニコライに賛成) ・きちんと罪を償ってほしいから。	・ ワークシートに自分の気持ちを、付箋に理由を書かせた後、ネームプレートで心のものさしに意思表示させ、考えを可視化する。付箋は、3通りの色分けをする。 ・ それぞれの意見に賛成する理由を知るために、意見交流をさせる。
	【話し合い】		意見交流をする中で、様々な視点から考えた、多様な考えを受け止めている。 ・ 3人ともロレンゾのことを心配して対応を考えていることを押さえる。
	3 酒場で、ロレンゾを疑ったことを言えなかった3人の気持ちを考える。	○かしの木の下で話し合ったことを、酒場では3人とも口にしなかったのは、どうしてでしょう。 ・ 友達を疑ったことは悪いと思ったから。 ・ ロレンゾが疑われたことを知ったら、気まずくなるから。 ・ 友達を信じていなかったから。 ・ 本当に罪を犯していたらどんな行動をするべきだったか考えていたから。	・ 3人がロレンゾを疑ったことを言えなかった気持ちを考えさせる。

展	4 実生活での例を挙げ、友達のためにどのように行動したらよいか考える。	○友達がペンを取ったという噂を聞きました。友達に確認したら、そのことを認めました。あなたは、友達のためにどのように行動しますか。	・資料と実生活を結びつけて考えさせる。 ・ワークシートに記入させる。
開	【話し合い】	○グループを作って、お互いの考えを出し合い、まとめましょう。 ・親に正直に話すように言う。 ・先生に報告をする。 ・正直に話すように勧め、もし話さなかったら事実を先生に知らせる。 ・何か事情があるだろうから、黙っておく。	・ホワイトボードにグループの意見を書かせる。 ・ホワイトボードを貼るときは「アンドレ」「ニコライ」「サバイユ」の心のものさしの配置と対比させて貼る。
／		○黒板に貼りに来る人は、3人の考えの「アンドレ」「ニコライ」「サバイユ」の心のものさしの配置と同じところに貼ってください。	・代表に発表させる。 ・班の意見として出なかった意見も大切にするため、何人か発表させる。
終末	5 今後の生活に生かしたいことをまとめる。 【書く活動②】	○今までの自分の生活を振り返り、本時の学習で学んだことや今後の生活に生かしたいことはどんなことですか。 ・本当の友達なら、噂だけを信用しないで、自分で確認する。 ・本当の友達なら、ちゃんと相手と向き合って話をする。 ・本当に友達のためになることは何なのか考えて行動する。	・ワークシートに書かせる。 心のつながった友達について考えることを通して、信頼や友情について考えようとしている。